

国営みちのく杜の湖畔公園を核とした【（仮称）道の駅かわさき】の整備事業の概要

地域の特徴等

川崎町は宮城県南西部に位置し、東に「仙台市」・西に「山形市」両県庁所在地の中心部まで車で40分圏内、さらには山形自動車道のICが2ヶ所あるなど、交通アクセスに恵まれた山間地域に位置し、主な産業は農林業である。交通アクセスに恵まれながらも西に蔵王連峰と接し、町営（指定管理者制度）の「セントメリースキー場」や「青根温泉」。東北で唯一の国営「みちのく杜の湖畔公園」や仙台市の水がめとなっている「釜房ダム」など、町内全域に観光コンテンツが点在している。昨今、「ワーク・ライフ・バランス」の重要性が問われているため、当町の様々な情報を効果的に発信することで、さらにクローズアップされる地域となりえるポテンシャルを秘めている。

「みちのく公園」に隣接した場所に「道の駅」ができることにより、これまで点在していた観光コンテンツや生産者組合等が連携する大きなきっかけになりえることが期待されている。

みやぎけんかわさきまち
【宮城県川崎町】

位置図



(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- 町内観光客入込数が100万人を突破し、「みちのく公園」の来園者数も80万人に迫る。
- 平成30年に川崎町と仙台方面を繋ぐ国道286号のバイパス化に着手しており、「道の駅」が及ぼすシナジー効果を発現する絶好の機会である。
- 仙台駅や仙台空港を結ぶ路線バスの運行開始、更には廃校活用事業等観光施設の増加により、旅行者数（インバウンド含む）が増えている。
- 令和2年3月に道の駅基本構想を策定。
- 「ジビエを核とした道の駅特産品開発計画」策定中。

(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ①観光協会『移転』（令和4年度予定）
- ②（株）タケヤ交通『路線バスの増便等』（令和4年度予定）
- ③旧小学校活用事業協議会『観光周遊コースの創設』（令和2年度予定）
- ④（社）宮城インバウンドDMO『着地型観光拠点の運営』（令和4年度～）

(3) 道の駅の必要性（現状の課題等）

- 「みちのく公園」の来園者を生かし切れていない。
- 観光コンテンツが点在。拠点として連携を主導する施設がない。

密接な
関連性

(4) 特記事項

- ①令和6年4月開業予定
- ②事業手法未定
- ③事業期間未定
- ④候補地はみちのく公園周辺の4カ所

(5) 民間との一体的な整備に期待する効果

- 町内観光客入込数の増加
- 観光産業をはじめ各種産業の売り上げ・生産量の増加

